

新年ご挨拶 相談役会長 戸沼 平八



明けましておめでとうございます。時代は、明治、大正、昭和、平成を経て、令和の時代となりました。令和2年は鼠年。私は7回目の年男です。

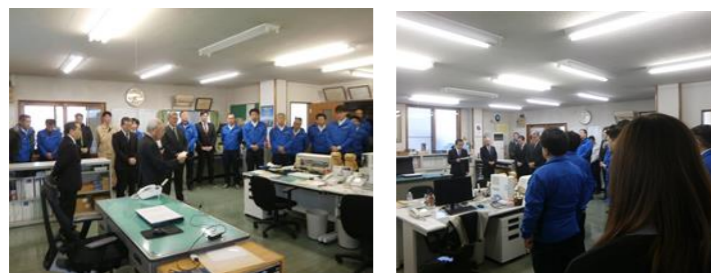
昨年4月の一泊研修会で年間の工事目標を設定して努力を重ねて参りました。お陰様で3月の決算時には目標を超える完成工事高を達成する見通しとなりました。安全で良い仕事をして

全ての工事を完成することを願います。

皆さんもご承知のとおり『安全と衛生』という社内報を発行しています。1980年2月25日に第1号を発行して以来、丁度40年になります。故人となりましたが、最初の編集者は戸田五郎さんという方でした。第1号は「安全で良い仕事をする事」をテーマに「(発行理由について)働いている皆さんに会社を中心とした出来事をお知らせしたり、労務関係のお知らせをすることによって、より以上に会社の中身を知っていただいて親睦の和を広げるという願いからです」と記されています。ぜひ、皆さんには情報を提供していただき『安全と衛生』を継続して発行していきたいと思っております。

昨年9月、スウェーデン人の環境保護活動家、グレッタ・トゥーンベリーさん(16歳)はニューヨークで開かれた国連気候行動サミットで約60カ国の首脳や閣僚を前に演説し「あなた方は、私の夢や私の子供時代を、空っぽな言葉で奪った」と気候変動問題に行動を起こしていないと非難しました。そして、昨年12月、マドリッドでCOP25(気候変動枠組条約締約国会議)が開かれた際、日本は国際的な環境NGOから地球温暖化対策に消極的であるとして『化石賞』という不名誉な賞をいただきました。当社は統合マネジメントシステム方針の中に『環境保全及び汚染の予防』を掲げ、「人と自然が調和する環境の創造と環境負荷の低減を図ることにより、持続的発展が可能な社会の実現を目指す」としています。何度も何度も、統合マネジメントシステム方針を読み返し勉強して欲しいと思います。今年も地域にアテにされる会社になるように社是『誠実と努力』をモットーに頑張ってお参りしましょう。

(令和2年1月6日全社員朝礼 会長挨拶から)





安全と衛生

戸沼岩崎建設株式会社 発行
令和2年2月15日
向春号 <http://www.tonuma.com/>
第238号

新型コロナウイルス感染症

昨年12月、中国湖北省武漢に端を発した新型コロナウイルス感染症は急激な勢いで感染者数が増加し、日本をはじめ海外に広がっています。アフリカでも感染者が確認されました。

2月14日(金)、国内の感染者は東京都2人、北海道、神奈川県、愛知、和歌山、沖縄で各1人、そして中国・武漢からのチャーター機(第3便)での帰国者1人の計8人が新たに確認され、大型クルーズ船の乗客乗員を含め、国内で確認された感染者は2月14日現在 259人。日々、増え続けています。既に「函館は大丈夫」という状況ではないのかもしれませんが。

函館建設業協会を經由して受信した北海道建設部長からの「新型コロナウイルス感染症に関する注意喚起の徹底について」という文書では、風邪や従来のインフルエンザ対策として有効とされてきた**手洗いやうがい、マスクの使用**を奨励し、相談窓口として**市立函館保健所や渡島保健所**(渡島合同庁舎内)を紹介しています。

また、免疫力を高めるためには、①バランスの良い食事を腹八分目、②適度な運動、③質の良い睡眠、④体を冷やさない、⑤禁煙等が有効とされています。

令和元年度後期 ISO内部監査



内部監査は当社の統合マネジメントシステムが現場や部門で適切に運用され、実効性ある成果が得られているかを検証し、現場の技術や安全衛生の向上と会社全体の改善等に繋げ“良い会社”になるために行われます。



内部監査員は職員が務めます。職員同士が互いの施工活動を確認することで ISO規格への理解を深め、自らの業務に不足する点を見出すのに役立っています。2月14日現在、土木7現場と建築1現場の内部監査が終了し、土木・建築・オフィスの3部門、管理責任者の内部監査と進み、総括のマネジメントレビューを経て、日々の業務にフィードバックされます。

転倒災害を防ぎましょう!

函館労働基準監督署管内(渡島・檜山地域)の令和2年1月の全産業の労働災害は21件で前年の同時期に比べ4件増加していますが、死亡事故は発生していません。また、土木業、建築業、木造建築業において、労働災害は発生していません。



1月に発生し報告があった労働災害の81%が転倒災害でした。冬季においては路面凍結等による転倒や建物の出入口付近で滑って転倒する災害等が増加しています。転倒防止対策として、敷地内の安全通路を指定し、段差や凸凹、突起物、つなぎ目等の躓く原因の改善及び除雪、滑りやすい場所における融雪剤や砂の散布、滑り止めの設置、滑り難い靴の着用等の対策を行ないましょう。

建設業年度末労働災害防止強調月間

例年、年度末の3月は、公共工事を含む多くの工事が完工時期を迎え、さまざまな作業が輻輳して繁忙度が増すなど、工事関係者の注意力が低下しやすい時期です。「建設業年度末労働災害防止強調月間」のポイントは下記の通りです。

1. 経営トップ等による年度末現場点検の実施。
2. 墜落・転落災害の防止。
3. 建設機械・クレーン等災害の防止。
4. 倒壊・崩壊災害の防止。
5. 飛来・落下による公衆災害の防止。
6. 火災・爆発等災害の防止。
7. 転倒災害の防止。
8. 交通労働災害の防止。
9. 不安全行動による災害の防止。
10. 安全衛生教育の推進。
11. 職業性疾病の防止。
12. 化学物質に関するリスクアセスメントの実施。
13. 健康確保対策の充実。
14. 現場におけるメンタルヘルス対策の推進。



朝山 誠さん ご長女誕生 おめでとう

1月20日、土木部の朝山誠さんにご長女・葵依(きい)ちゃんが誕生しました。おめでとうございます。朝山誠さん・友子さんご夫妻にとって初めてのお子さん。喜びもひとしおのことと思います。命名はご夫婦で相談して決められたとか。

葵依ちゃんが健やかに成長されることを祈念すると共に、朝山さんの今後益々の活躍を期待しています。